

課題及び取組概要

○和泉市は府内最大のみかん産地であり、産地の活性化に向け、地域の農家女性による法人が製造・販売している加工品を使った新商品開発等利用拡大が課題となっている。

○総合事務所農の普及課では、法人を中心として加工業者、市、研究所、商工会議所、JA等によるネットワークを構築し、新たな加工品の開発や販売(直売所、飲食店)や学校給食での利用促進できるよう支援実施。



普及活動内容

平成24年以前

- みかんの利用拡大に向け、「みかん餡」の製造計画及び開発。
- その際、製造過程でできる「みかんペースト」着目し、新たな商品の開発を模索。

平成25年

- 農の普及課が調整、支援を行い、関係機関等によるネットワークを構築。
- 国交付金事業を活用した新商品の開発を支援。

平成26年

- 前年度開発した新商品の販路開拓や利用拡大、特に飲食店や学校給食等での利用を進めた。
- 国交付金事業を活用した新商品(乾燥みかん、ドレッシング)の開発を支援。
- 原材料の高品質化を目指し、大阪エコ農産物認証制度の活用を進めた。

平成27年

- 前年度までに開発した新商品の販売により、法人経営が安定化するよう、道の駅や量販店等での販売強化や給食等での利用拡大を進めた。
- 製造量の拡大に対応できるよう、加工業者との連携強化や原材料供給の体制整備を進めた。

成果

1 民間企業との連携による新たな加工品開発

- みかん加工品の開発
 - ・ペースト、ドレッシングの開発
 - ・ペースト利用による新商品開発(餅、パン)

2 ネットワークを活かした利用促進

- 利用拡大に向けて、農業者が市、商工会議所等とネットワークを構築
- みかんペーストの利用拡大
 - ・学生と連携したレシピの作成
 - ・利用方法の提案による加工業者への販路拡大
 - ・学校給食への新規利用促進
- 新商品の販路拡大による産地PR
 - ・直売所での新商品としての定着
 - ・量販店等でのイベント実施による産地PR

3 原料の高品質化、安定確保に向けた取組

- 加工用みかんの防除歴作成
- 原材料の安定確保に向けた市内果樹農家組織との連携強化

新商品開発したものの例



みかんペースト



みかンドレッシング



みかんくるみ餅

みかんパン
(市内学校給食でも利用)